



地域のさらなる発展と生活の向上 「平尾ふれあいセンター」落成式



平尾ふれあいセンター（写真左）、消防格納庫（写真右）



園児による元気いっぱいのソーラン節



地元住民で餅つき



謝辞を述べる山崎区長

4月3日、平尾地区避難施設の落成式が同敷地内に併設された平尾分団消防格納庫お披露目と併せて行われました。式には、自治会関係者や消防団など約40人が出席し、施設の開所を祝い、餅つきや平尾保育園の園児によるソーラン節が披露されました。川添町長は「地域の結束と連携を象徴する場であり、地域の安心安全を守り、平尾地区が発展することを期待している」とあいさつし、平尾大字委員会の山崎友喜区長は「立派な施設と共に広い駐車場と消防格納庫も整備されており、地域のさらなる発展と住民生活の向上に寄与する。大切に使用していきたい」と謝辞を述べました。

このほか、同施設の愛称を平尾大字委員会が募集し、選ばれた「平尾ふれあいセンター」に応募した藤川朋美さん（平尾中・3年）ら3人に表彰状が手渡されました。

医師を紹介します

鷹巣診療所に4月1日付けで西田医師が着任しました。

長島町の印象は？

以前、阿久根市の出水郡医師会広域医療センターに勤務しており、長島には何度か訪れていました。

黒之瀬戸大橋をはじめ多数の景観があるとともに、ジャガイモやブリなどおいしい食材にも恵まれている町という印象でした。

住み始めて3週間程度ですが住民の人びとは、仕事やイベントなど多方面へ活発に取り組みられていて、活気にあふれた町であると実感しています。

着任の抱負

元は鹿児島大学大学院主要学講座消化器・乳腺甲状腺外科学に入局し、昨年は奄美大島にある県立大島病院に従事していました。

主に外科手術をはじめ、抗がん剤治療・緩和ケアに携わってきました。まずは、長島という地域の特色に一日でも早くなじむようにしつつ、今まで学んできた知識や技術を少しでも長島の医療・健康増進に還元できるように誠心誠意努めていこうと思っています。皆さまどうぞよろしく願います。



鷹巣診療所医師

西田 祐一郎 (30)